



コロナ禍の教育活動

校長 池田 忠徳

新年度の慌ただしさがひと段落し、これから本格的に学校の教育活動が動き出すと思っていた5月8日（土）、県内の新規感染者数が76人（後に75人に修正）という報道を見た時には目を疑いました。さらに、福岡県・沖縄県に緊急事態宣言、熊本県にはまん延防止等重点措置。その後の県内新規陽性者数も高い数字で推移しており、感染力が強く重症化リスクが高いといわれている変異株の影響とともに予断を許さない状況が続いています。

連休明けには、改めて、教職員の皆さんに、マスクの着用、三密（密閉、密集、密接）防止、手洗い・手指消毒等の感染症対策の徹底をお願いするとともに、発熱等の風邪症状があるなど体調不良を覚えた場合は、躊躇することなく出勤を控えるようお願いしたところです。

昨年来のコロナ禍で、最も大切なものは何かを考え取捨選択すること、行事開催時の対策・配慮などは当たり前になってきました。本校においても、会場の変更、参加人数の制限、リモート会議等の工夫をしながら、今のところ、各教科の授業や学校行事等の教育活動を実施していますが、こうした対策が幼児児童生徒の皆さんに及ぼす影響についても注視していかなければと思っています。

これからも、引き続き新型コロナウイルス感染症の状況等を見ながら、安全で安心できる教育環境づくりと教育活動の充実に努めていきたいと思えます。

九州地区の盲学校関連行事の予定について、以下のとおりお知らせします

○九州地区盲学校PTA連合会総会・研究協議会	7月	佐賀	リモート開催
○九州地区盲学校体育大会	7月	熊本	中止
○科学ヘジャンプ	8月	沖縄	検討中
○九州地区盲学校音楽大会	11月	福岡	9月態度決定
○九州地区盲学校教育研究会	11月	長崎	リモート開催

【歩行指導について】

昨年度まで、年2回授業参観指導に来られていた、歩行訓練士の南奈々先生に、今年度より本校の非常勤講師という立場から、週2時間指導を受けることができるようになりました。南先生は、児童生徒の様子を見ながら、その場で的確に指導を行うことができます。環境把握の仕方、正しく歩行するための手足の運動、歩く姿勢、白杖歩行、公共交通機関を安全に乗降するための訓練等、様々な内容に対応した指導です。職員は、その日から指導に生かすことができ、実践的な研修となっています。児童生徒は、南先生に会えることを楽しみにしています。南先生は、継続して児童生徒の様子を観察できること、児童生徒の頑張る姿を見ることができることを喜びながら指導に当たっています。



『令和3年度学校評価』について

今年度の学校評価計画は、盲学校ホームページにて5月14日（金）からご確認いただけます。

幼小小学部

【タケノコ掘りに行きました 4/20】

春の自然を感じ、この季節ならではの楽しみに触れるため、たけのこ掘りに竹林に行きました。芽を出したタケノコを見つけ、みんなで触察したり、シャベルやクワで掘り起こしたりしました。大きなタケノコもありましたが、皮をむくと、中身があまりに小さくなって、がっかりすることもありました。春のにおいを感じられる貴重な機会となりました。



中学部

2年ぶりに高等部と合同の校内弁論大会に参加しました。昨年度は、コロナ感染のため中学部だけの発表会だったので、2年生にとっては初めての経験です。ドキドキが聞こえてくるほど、緊張していたようですが、練習の成果をしっかりと発揮して、それぞれの思いを伝える弁論ができました。最優秀賞を取った3年生の小林さんは、声の大きさや抑揚に工夫を凝らし、2年生から「アナウンサーみたいでした！」と言われていました。



事後学習では、反省や感想を伝え合い、先輩たちの発表の良さを確認することもできました。他の発表をしっかりと聞き取っていたことが素晴らしいと思います。きっと来年の発表に繋がることでしょう。最後に参加賞をもらい、笑顔の3人でした！

高等部

【堂々と、校内弁論大会】

5月7日（金）、中学部と合同で校内弁論大会が開催されました。高等部からは普通科の生徒3名が出演し、それぞれ『メールが教えてくれたこと』、『これまでの自分とこれからの自分』、『目が見えなくなってしまうこと』と題し、将来の展望や視覚障害を通じて得られたものなどを実体験に即して発表しました。自分の思いを人に伝えるよい経験になったようです。

【すこし緊張！？ 中間テスト】

5月19日（水）から3日間、新年度最初の中間考査は、全員が少し緊張した面持ち。（ちなみに昨年度はコロナ禍で中止でした。）本校生にとっては、勉強のみならず、体調管理も受験上のポイントです。さて、実力が出せたでしょうか…？

寄宿舎

【余暇時間】

寄宿舎の一日の中で、舎生が自分の好きなことを思い思いに楽しむ余暇時間について、紹介します。

最近では、舎生同士で声をかけ合って、遊戯室でSTT(サウンドテーブルテニス)をしたり、談話室でテレビやカードゲームを楽しんだりしている様子が見られます。また、小説や漫画本を読んだり、大好きなオペラの音楽やアニメソングなどのCDを聴いたり、一人の時間を楽しんでいる舎生もいます。

余暇時間は、舎生にとってのリフレッシュの時間でもあり、自分から楽しみを見つけ、自ら行動する力にもつながっています。コロナ禍で、できなくなったこともありますが、今、自分たちができることややりたいことを見つけながら、楽しく元気に生活してほしいです。



見えないことや見えにくいことで困っていませんか？
「目の支援センター ゆうあい」へ相談してみましょう。
相談は無料です。秘密は厳守します。
相談しても、盲学校に転入学する必要はありません。

佐賀県立盲学校
目の支援センター
ゆうあい



TEL 0952 - 23 - 4672